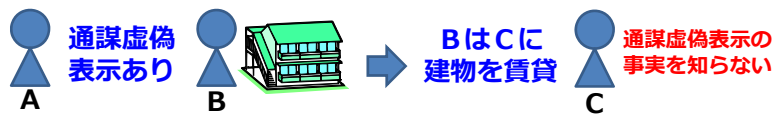


## 第三者とは何か

### 94条2項における「第三者」の定義

**その表示の目的物につき**、新たな法律上の利害関係を  
取得した者

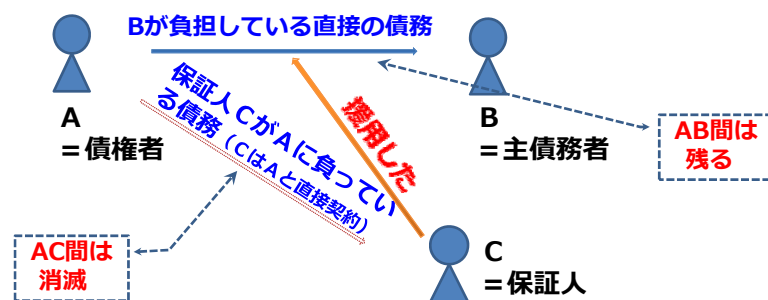
Aは土地をBに売却したように装い、Bがその土地に建物を建てた



この場合、Cは第三者にあたるか？

## 援用の相対効

時効の効果は、これを援用した者についてのみ生じる（その人ごとに考える）



### 問題

Cは、AB間の主債務に消滅時効の援用をしてAC間の債務を消滅させることができたが、なぜAB間に残るのか？

## 時効の遡及効

～ 時効の効果は、「起算日」までさかのぼる ～  
 「起算日」とは時効期間の始まりとなった、事実状態の開始の日

起算日は  
いつか？

取得時効・・・「占有の初めから」

消滅時効・・・「債権者が権利を行使しうるときから」



A  
= 家の所有者



放  
火

2012年9月15日  
Cの放火によって一部燃える

2002年10月1日から  
Aの家を占有し始めた



B  
= 占有者（善意・無過失）

Bの時効が完成する  
2012年10月1日を迎えた

Cに対して不法行為責任を追及  
できるのはAか、Bか？

## 時効利益の放棄

時効の**完成後**に、時効による利益を享受しない旨の意思表示をすること

民法は個人に利益を押し付けることはしない

時効を援用してもよいし、時効利益を放棄してもよい

ただし、完成前はダメ

時効の完成前に、  
あらかじめ時効の利益を放棄しておくことは許されない

問題

なぜ、時効の完成後はよくて、完成前はダメなのか？

## 時効完成後の債務承認

時効が**完成した後に**、債務者が認めた場合(債務承認)は時効利益の放棄か

①債務者が**時効完成を知っていた場合**

時効利益の放棄

②債務者が**時効完成を知らなかった場合**

すみません、来月必ずお返しいたします



A  
= 債権者



B  
= 主債務者

放棄とは言えない

10年経っているのを知らずに借金していることを承認してしまった

### 問題

上記例②が「放棄」ではないとすれば、この後、Bが時効の援用をしたら、これをどう解釈すればよいか？

## 時効の中断（意義）

時効期間の経過中、それまでの期間の経過を覆し、まったく無意味にする



時効の  
リセットボタン

請求

4つある

差押

差押

仮差押

仮処分

承認

被保佐人  
OK

被補助人  
OK

### 問題

なぜ、請求や差押をすると、時効が中断するのか？

## 請求（民事訴訟の提起）

### 4種類 の請求

- ①裁判上の請求 ③和解のための呼び出し  
②支払督促 ④破産手続きへの参加

**裁判上の請求**をすると時効が中断する

### 例外

「訴えの取下げ」  
「却下」  
「請求棄却(敗訴)」  
の場合は中断しない

### 問題

「却下」と「棄却」の違いは何か？

## 裁判外の請求

### 問題

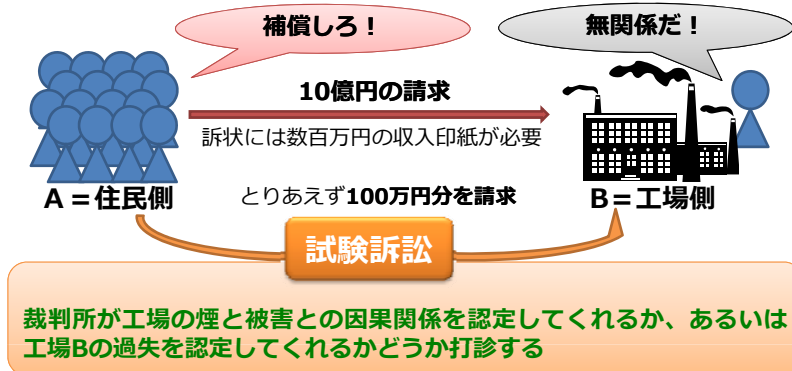
裁判以外の請求でも、時効は中断するのか？

- ①「電話」による請求  
②内容証明郵便などの書面による請求



**時効の完成**を6ヶ月間引き延ばせる

## 一部請求と中断の範囲



### 問題

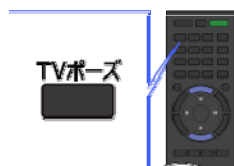
時効が中断するのは、損害10億円全体か、100万円分のみか？

## 時効中断の効果と時効の停止

### 問題

中断の効果とは「それまでの時効期間が覆されてゼロになる」ことだが、中断以後も中断以前と同じ事実状態が続いた場合はどう判断するか？

**時効の停止**とは「時効の完成間際に、**時効の中断を困難にする一定の事情**が生じた場合、その期間だけ時効の完成を延期する」こと。



大地震が発生して裁判所へ行けなかった…